|  |
| --- |
| **学校経営推進費　評価報告書（１年め）** |
| **１．事業計画の概要** |  |  |  |
| **学校名** | 大阪府立香里丘高等学校 |
| **取り組む課題** | 授業改善への支援（生徒の学力の充実） |
| **評価指標** | * アクティブ音楽コース選択生徒による授業アンケートにおける授業満足度の向上及びコース選択生徒の比率向上
* 全国的な作曲コンクールでの審査結果
 |
| **計画名** | 「得意を伸ばす！ アクティブコース充実プログラム」 |
| **２．事業目標及び本年度の取組み** |  |  |  |
| **学校経営計画の****中期的目標** | １　確かな学力の育成と第一志望の進路実現（３）アクティブ専門コース（アクティブ音楽コース）の充実。ア　生徒の得意分野や興味・関心の深いエリアをさらに支援し、伸ばすことを目的としながら、自信や意欲を支える自尊感情や自己肯定感を高め、自己実現をめざす志を育み、学習面とは違った側面から学力の向上も図る。イ　何事にも積極的に取り組む姿勢を育むとともに、リーダーシップ、忍耐力、集中力、協調性、社会性、奉仕の精神など、社会で必要とされる「生きる力」を育む。 |
| **事業目標** | アクティブ音楽コースでは、音楽について様々な角度から学習しており、その一つとして２年生で楽曲の『編曲』、３年生で『作曲』を取り入れている。この活動をさらに充実させるため、楽譜作成ソフトを一新し、作曲家等外部講師に指導を仰ぎつつ、３年生が作曲した「マーチ（行進曲）」の最優秀作品を全国的なコンクール（全日本吹奏楽課題曲コンクール『朝日作曲賞』）に出品し、入賞をめざす。特色ある授業を展開することにより、アクティブ音楽コース選択者の比率を令和５年度に７％にし（R２ ４％）、「授業アンケート」『興味・関心を持つことができた』『知識・技能が身についた』を令和５年度には95％にする（R２ 92％）。 |
| **整備した****設備・物品** | * 楽譜作成ソフト(24台分)
* 音楽室へのプロジェクタ１台の設置
* 情報コンセント増設とアクセスポイントの設置
* スピーカー・Blue-rayプレーヤー・プリメインアンプ・教員用ノートパソコン・ハーモニーディレクター
 |
| **取組みの****主担・実施者** | * プロジェクト委員会
* 実施責任者は、アクティブコース担当者（指導教諭（音楽））
 |
| **本年度の****取組内容** | * 楽譜作成ソフトを購入、パソコンにインストールした。
* ２年生はアンサンブル曲の「編曲」に取り組み、３年生はマーチの「作曲」に取り組んだ。
* 本校卒業生の作曲家である酒井 格氏から作曲についての指導を２回受けた。一人ひとりの作品に対して丁寧な指導を受けることができた。
* 完成したマーチの優秀作品発表会を本校吹奏楽部員の演奏により実施。演奏についても、酒井氏から講評、助言をいただいた。
 |
| **成果の検証方法****と評価指標** | 1. 授業アンケートにおける「授業に、興味・関心を持つことができたと感じている」「授業を受けて、知識や技能が身についたと感じている」（令和２年度平均92％）を平均93％以上にする。
2. アクティブ音楽コース選択者の割合を５％以上にする（令和２年度４％）。
3. 個々の生徒作品を外部講師に評価していただく。
 |
| **自己評価** | 1. 授業アンケートにおける「授業に、興味・関心を持つことができたと感じている」「授業を受けて、知識や技能が身についたと感じている」の肯定的評価の平均86％ （△）
2. コース選択者は３％だった。 （△）
3. この取組みについて、高等学校課の指導主事に、講評を受けた（１月18日）。また、酒井 格氏にも評価を受けた。 （○）
* 今年度については、あたらしい音楽ソフト導入により、２年生の「編曲」、３年生の「作曲」ともに、順調に進めることができた。また、プロジェクタを利用し、一人ひとりの作品をスクリーンに映し出すことで、選択生徒全員が共有することとなり、技能の向上に大いに役立った。新型コロナウイルスの感染拡大により、講習日を変更せざるを得ないこともあったが、日程調整の結果、当初予定していた回数来校していただくことができた。
 |
| **次年度に向けて** | * 今年の成果をもとに、作曲家の指導を有効に生かし、マーチ作曲の内容、質を高め、次年度に最優秀作品を作曲コンクールに出品できるよう取組みを進めたい。
* この取り組みを本校内だけではなく、中学校や他の高校へも広めていくことにより、認知を高める必要があると感じている。
 |

**３．事業費報告**

